

平成11年 9 月20日
原子力安全対策課
(11 - 92)
<15時00分資料配布>

新型転換炉ふげん発電所の原子炉起動について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、全出力（16.3万kW）で運転中のところ、取水口（浦底湾）にクラゲが襲来し取水口の水位が低下した。このため、復水器および原子炉補機冷却系への海水取水に支障が生じたため、平成11年 9 月18日13時43分頃から原子炉の出力を手動で降下していたが、重水温度の上昇が認められたことから、13時52分、電気出力約14万kWで原子炉を手動で緊急停止した。

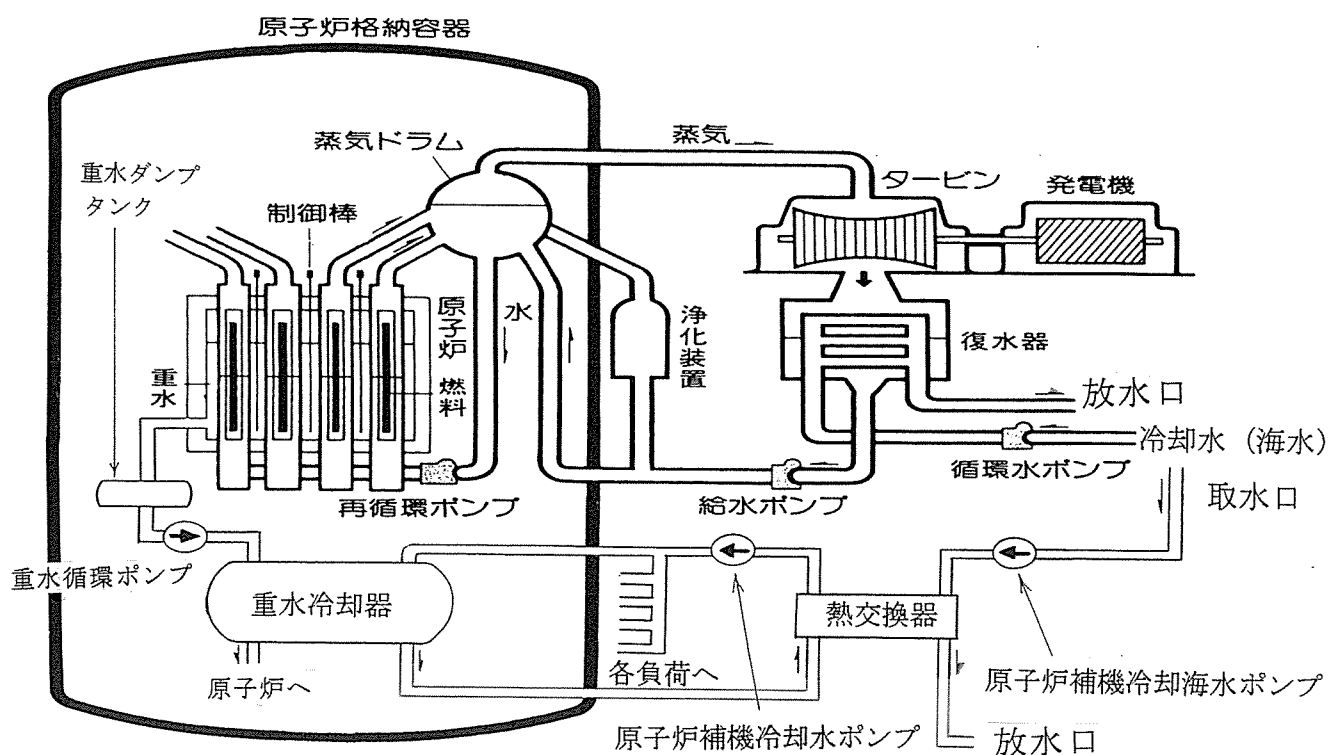
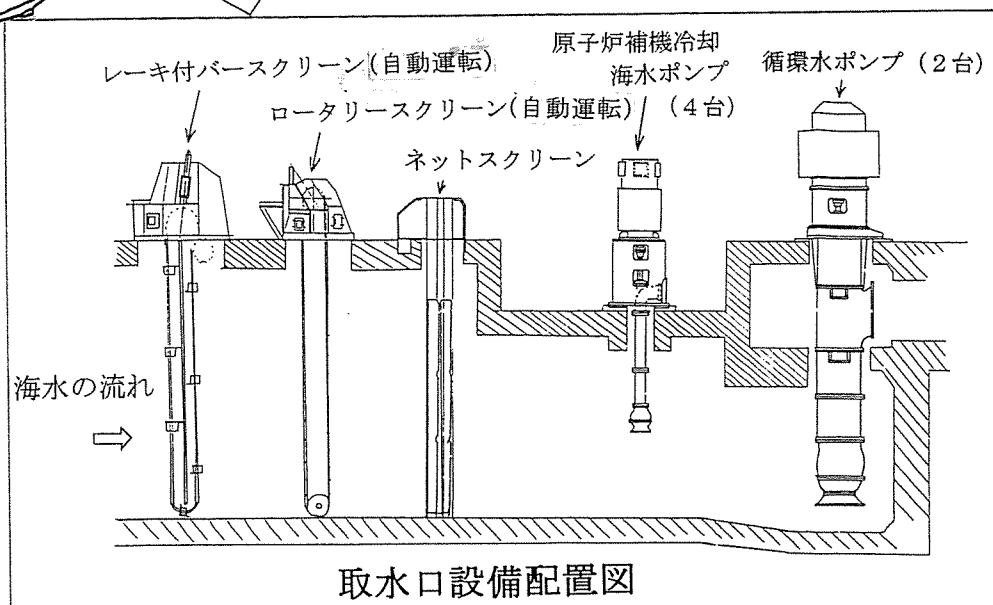
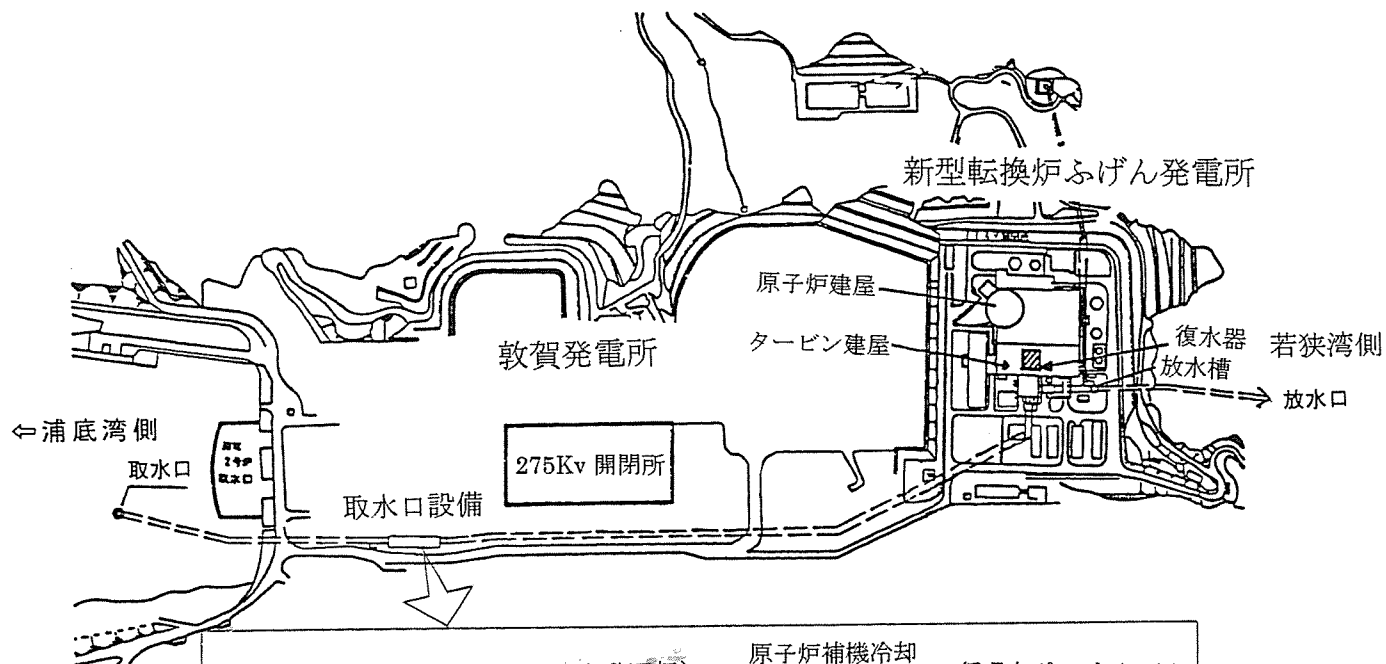
なお、今回の手動停止による周辺環境への放射能の影響はない。

[平成11年 9 月18日記者発表済]

取水口の海水除塵装置に付着したクラゲの除去と装置の清掃を行うとともに、取水口のポンプ類の点検等を行い問題ないことを確認したことから、本日18時頃に原子炉を起動し、翌21日13時頃に発電を再開する予定である。

なお、今後は、取水口の水位低下に早期に対応できるように、海水除塵装置の自動運転間隔等の見直しを図ることとした。

科学技術庁による国際原子力事象評価尺度（INES）：0（暫定値）



ふげん系統図 (Fugen System Diagram)

(参考)

発生時点の時系列

平成 11 年 9 月 18 日

13 時 38 分頃	「取水口水位差大」警報発生 (300mm) 海水除塵装置自動起動
13 時 40 分頃	「海水除塵装置故障」警報発生 (自動停止)
13 時 43 分頃	原子炉出力降下開始 (約 163MW から降下)
13 時 50 分頃	B-循環水ポンプ手動停止
13 時 51 分頃	「重水温度高」警報発生 (53℃)
13 時 52 分	原子炉手動スクラム (スクラム時状況) 重水冷却器出口重水温度 ; 約 54℃ 発電機出力 ; 約 140MW

お 知 ら せ

英国 BNFL 社における MOX 燃料に係る測定データの疑義について

平成 11 年 9 月 24 日
資源エネルギー庁
原子力産業課
原子力発電安全管理課

1. 標記の件について、資源エネルギー庁は、関西電力㈱に対し、現在製造中の高浜発電所 3 号機向け及び海上輸送中の同発電所 4 号機向けの MOX 燃料のデータについて詳細な調査を行うよう指示しました。

(9 月 14 日お知らせ済)

2. 本日、関西電力㈱より MOX 燃料のデータについて調査状況の中間報告を受領しましたのでお知らせいたします。

3. 資源エネルギー庁としては、現地に派遣した当庁職員を通じて関西電力㈱の調査が適切に行われていることを確認しており、高浜 4 号機向け MOX 燃料の品質管理検査データに問題はないとしている関西電力㈱の判断は妥当と考えますが、MOX 燃料の健全性については、今後、原子力発電技術顧問の意見等も踏まえながら、厳正に輸入燃料体検査を行い、総合的に判断することとします。

なお、高浜 3 号機向け MOX 燃料については、引き続き関西電力㈱において調査を行っており、その結果を十分確認することとしています。

(お問い合わせ先)

MOX 燃料の輸送、プルサーマル等原子力政策について

長官官房原子力産業課 五嶋、星野、古谷

電話 03-3501-1992 (直通)

03-3501-1511 内線 3911

MOX 燃料に関する電気事業者の調査、安全規制について

公益事業部原子力発電安全管理課 平岡、木原、門野

電話 03-3501-9547 (直通)

03-3501-1511 内線 3821